

新型コロナウイルス感染症対策関連事業 評価シート

1. 事業名	学校給食センター厨房冷房対策事業				
2. 担当部署	教育部	担当課等	学校給食センター		
3. 事業の概要	通常夏休みとしている7月から8月の猛暑時期の給食提供を安全に行うため、厨房に空調設備（エアコン）がない北部学校給食センターと東部東和学校給食センターにシーズンレンタルの仮設冷房機を設置する。				
4. 事業の目的	新型コロナウイルス感染症対策に伴う小中学校の臨時休業の影響で、夏休みを短縮して授業を行う日に学校給食を提供するため、厨房に空調設備（エアコン）がない学校給食センターに仮設冷房機を設置して安全安心な給食提供を図る。				
5. 事業対象	子育て世帯、市立幼稚園・小中学校の保護者等				
6. 年度末状態	年度内完了				
7. 事業費	283千円	執行額	283千円	執行率	100.00%
8. 事業評価	効果があった				
9. 事業評価理由	<p>令和2年度の7月から8月の猛暑時期に学校給食を提供するため、厨房にエアコンがない学校給食センター2箇所仮設冷房機を賃貸借して設置した。</p> <p>仮設冷房機の使用により、調理員の熱中症予防等、業務従事者の体調管理が図られるとともに、学校給食の安定的な供給に効果があった。</p>				
10. 事業課題	対象となる北部学校給食センターと東部東和学校給食センターは、もともと厨房にエアコンがないため、仮設冷房ではなく、きちんとした冷房設備を設置するべきではないかという課題がある。				
11. 課題の要因	<p>①北部学校給食センターと東部東和学校給食センターは、建築年次が古いために、建物や機械設備の老朽化が問題になっている。</p> <p>②北部学校給食センターと東部東和学校給食センターを除く3箇所の学校給食センターは、建築年次も比較的新しいために、空調等に大きな問題なく学校給食の調理ができています。</p>				
12. 令和3年度の方向	新型コロナウイルス感染症の影響が想定されるため、令和3年度の夏季における小中学校の給食提供に備えて、仮設冷房機を準備しておかなければならないが、夏休みの短縮と授業実施は未定のため、一般財源での実施も念頭に置いて準備を行う。				